

健康長寿に係る先進的な取組事例

深谷市

～深谷市健康マイレージ事業 「ためるんピックふかや 健康づくりポイント」～

(1) 取組の概要

深谷市では平成25年3月に「深谷市健康づくり計画（健康増進計画・食育推進計画）」を策定し、「自分の健康は自分でつくる」という個人の取り組みを基本方針とし、さらに、ヘルスプロモーションの理念に基づき、行政や地域が協働し市全体で市民の健康づくりを支援する環境づくりを目指している。

この計画に基づき、市民、行政、協賛店等の民間事業者や市内の大学、病院等の地域の力が連携した健康づくりの新たな取り組みとして、深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや 健康づくりポイント」を実施することとした。

この取り組みをもとに、日時や場所に制約されない幅広い健康づくり事業を実施することにより、気軽に健康づくりに取り組む市民が増え、市全体で健康づくりの気運を高めることを目的とする。

(2) 取組の契機

(ア) 健（検）診受診率の向上を図る

各種がん検診受診率は、県平均をやや上回っている種目もあるが、市健康づくり計画では、胃がん検診受診率の目標を40%としていること、健康づくりの第一歩として検診受診は重要であると考えことから、受診率の向上を図る事業を実施することが必要である。

がん検診結果統一集計

	H24		H25
	県	深谷市	深谷市
胃がん	6.81	13.83	16.34
肺がん	19.91	19.72	22.90
大腸がん	23.3	18.37	22.02
子宮がん	20.69	21.66	21.94
乳がん	20.52	21.49	26.56

(イ) 健康づくり事業の拡大・活性化

市民アンケート調査の結果から、「治療よりも予防重視へ」という内容が多くみられ、日常的に健康づくりに取り組んでいる（ときどき取り組んでいるを含む）市民の割合は64.9%であった。しかし、30～40代では運動習慣がない人が70%割以上であること等、健康づくりへの関心はあるが、きっかけがない等の理由から取り組めていない世代へのアプローチが必要である。また、健康づくり等に関する情報の入手経路は、テレビが75.8%と最も多く、市が実施している事業が

7. 2%であった。

今後は、市民が気軽に健康づくりに取り組めるよう、生活スタイルに応じた幅広い健康づくり事業の実施が必要である。

(ウ) 市民協働の重要性

「健康」を広い視点で考えた場合、社会参加や他者とのコミュニケーションも重要となってくる。このため、保健衛生分野の取組みだけでは広がりには限界がある。行政の他分野、市民活動、民間事業者、地域団体等と協働し、地域協働の健康づくりの重要性の普及・啓発を図るとともに、市民が参加しやすい魅力ある事業を実施する必要がある。

(エ) 取組の内容

事業名	深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや 健康づくりポイント」
事業開始	平成26年度～

	平成26年度	
予 算	3,345千円 ・印刷製本費 1,167千円 啓発チラシ、ポイントカード等 ・消耗品費 2,178千円 ※埼玉県ふるさと創造資金採択事業：市町村による提案・実施事業補助金交付事業	
参加人数	1,200人（目標値）	
期 間	平成26年7月～平成27年3月	
実施体制	・深谷市（保健センター主催） ・市内協賛店 ・民間事業者、大学、病院、地域団体等	

① 実施に向けた調査研究（平成25年9月～）

他自治体における実施方法及び効果等の調査。

② 「ためるんピックふかや」事業の主旨説明・協力依頼（平成26年1月～）

◇協賛店への登録…商工会議所・商工会、市内各商店

※協賛店に來所した参加者に「健康づくり宣言」への一声応援、ポイントシールの配付、買物をした参加者へ店舗独自の特典。

◇事業の登録

…市役所各課、市内高等教育機関、病院、民間事業所、地区組織（食生活改善推進員協議会等）等

※登録事業参加者へポイントシールの配付。

◇景品販売協力…市内障害者施設

③ 健康づくりポイントカード等の作成（平成26年4月～）

◇事業をPRするためのキャッチフレーズ、ロゴマークの作成。

◇ポイントカード、啓発用チラシ・のぼり旗等の作成。

④ 参加者の募集・事業の周知（平成26年7月～）

広報、チラシ、公共施設、保育園、協賛店、登録事業開催時等、様々な機会を捉え、ポイントカードを配付し参加者の募集を行った。

※7月20日 「キックオフ！イベント」を開催し事業開始をPR。

⑤ 事業の開始（平成26年7月～）



⑥ **ポイント達成者への景品交換**

平成27年3月31日を期限に現在実施中。

⑦ **事業評価のためのアンケート集計**

実施中。目標数：300件（回収数130件。平成26年12月12日現在）

⑧ **事業から得られた情報、評価をフィードバック（平成27年3月～）**

市民、関係機関等に向けて、市が把握した市民の自主的な健康づくり活動、主催を問わず各機関で実施されている健康づくり活動等の情報を還元予定。

(オ) 取組の効果（目指すもの）

① 各種がん検診、健診受診を必須項目としたことによる受診率の向上

② 健康づくりに取り組む市民の増加

③ 健康づくりの視点をもって活動する民間事業者、地域団体の増加

(カ) 成功の要因、創意工夫した点

① 各種健（検）診受診について、市が実施するもの以外も可としたこと

② 市主催以外の事業も登録事業とすることにより、市民が日時に捉われず幅広く事業を選択できるようにしたこと。

③ 登録事業以外の活動をした場合も、自主的な健康づくりとして、自己申告によりポイント化できるようにしたこと

④ 景品を障害者施設の授産品としたことで、施設と参加者の交流、障害者の自立を支援することにつながること

(キ) 課題、今後の取組

① 目に見える形での事業効果

市全体で健康づくりの気運を高めることから医療費削減の効果等、数値に表れるまで相当の期間を要することから、数値上での効果検証は困難な点がある。

② 幅広い世代の参加者を確保

事業開始初年度であることから、周知を強化し、幅広い世代に普及させるとともに、30～40代が気軽に健康づくりに取り組むきっかけとしていきたい。

③ 協賛店、登録事業の拡大

幅広い健康づくりを行うには、行政だけでなく民間事業者等の協力が必要であり、

地域協働の健康づくりの重要性を説明し、協賛店、登録事業の拡大を図っていきたい。

深谷市ホームページ <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

平成26年度 深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」アンケート

今後の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。アンケートの結果につきましては、個人を特定できないように取り扱います。

<各質問について、あてはまるものに○をつけてください。>

【質問1：あなたの性別と年代は】

性別 男 ・ 女
年代 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上

【質問2：次のどちらにあてはまりますか】（複数回答可）

ア. 深谷市内に住んでいる イ. 深谷市内に勤めている ウ. 深谷市内の学校に通っている

【質問3：「ためるんピックふかや」のことをどこで知りましたか】（複数回答可）

ア. 市の広報、チラシ
イ. 保健センターや公民館などの公共施設の窓口
ウ. 協賛店
エ. 各種講座や事業、イベントなどに参加したとき
オ. 家族や知人から
カ. その他（)

【質問4：「ためるんピックふかや」のポイントカードをどこで入手しましたか】

ア. 市役所、保健センター、公民館などの公共施設
イ. 協賛店
ウ. 登録事業に参加したとき
エ. 家族や知人から
オ. その他（)

【質問5：「ためるんピックふかや」に参加した理由は】（複数回答可）

ア. 健康のために何かしようと思ったから
イ. 家族や知人に勧められたから
ウ. 面白そうだから
エ. 景品に興味があったから
オ. その他（)

【質問6：「健康づくり宣言」は順調に進んでいますか】

ア. 順調 イ. まあ順調 ウ. がんばりが必要 エ. 達成できた

※裏面もご記入ください

